

女性会員の紹介（第3回）

今回は、平成26年9月7日に行われた「平成26年度仙台市区対抗剣道大会」で先鋒を務め見事優勝に導いた七北田剣道クラブの佐藤小百合さん（4段）です。今年見事4段を取得しました。おめでとうございます。

出身は地元七北田で、小学3年から剣道を始め、大学時代（東京にいたそうです。）を除きずっと剣道に励んできた女性剣士の鑑みたいな方です。

剣道を始めたきっかけは、父親が柔道を教えていて武道はやりたかったが柔道は合わないと思ったからだそうです。中学2年生の時、団体戦で県大会にも出場しました。中学時代のコーチが同じ七北田剣道クラブの高橋義宗6段だったそうです。

社会人として仙台に戻ると、これも同じ七北田剣道クラブの郷内俊典7段から誘われ剣道再開の道が開け、同クラブの女子剣士 大野美紀子、大泉知子、小野寺悦子各氏との稽古・交流ですっかり七北田剣道クラブに馴染んでいったとのことでした。

このように、良き指導者と同僚との巡り合いが現在の佐藤小百合選手を形作っているとの思いがいたします。4段挑戦の時も、師範の鈴木利勝先生から「基本に忠実に大きい技を出すように」と指導され、ひたすら大きい技を繰り返し稽古したそうです。

最後に今後の抱負を聞きました。5段を目指し、長く楽しんでやっていきたい、そして、多くの人と稽古をやっていきたい、とのことでした。土日が仕事で、木曜稽古しかできないのが残念と話してくれました。時間がないからこそ、集中して稽古に臨んでいるのだと推察しています。5段への昇段と今後のご活躍を祈念しています。

平成26年11月9日に泉総合体育館で行われた第38回泉区民武道大会での対戦終了後のまだ息が上がっていたなかでのインタビューでした。お疲れ様でした。

（レポーター：事務局次長 小笠原 任）

